

会議名	令和3年度	開催日	令和3年9月3日(金)
	第1回台東区立図書館に関する意見交換会	時間	午後6時30分～7時30分
		場所	ZOOMによるオンライン開催
出席者	大串夏身委員長(昭和女子大学名誉教授) 野末俊比古副委員長(青山学院大学教授) 尾花達也委員(公募区民) 森本勝大委員(公募区民) 永田晴久委員(台東区社会教育団体協議会理事長、台東区写真連盟理事長) 梶靖彦委員(台東区教育委員会事務局次長)		
配布資料	事前配付資料 台東区の図書館 資料1 新たな学校支援メニューについて		
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 大串委員長</p> <p>3. 新委員紹介</p> <p>4. 議事 (1)令和2年度台東区図書館事業実績について ●事前資料について、事務局から説明</p> <p>【委員長】 ただ今の説明について、質問・意見を聞かせてほしい。</p> <p>【委員】 中高生向けのイベントでzoomを使って実施したと報告があったが、参加された方の評判や声、実施した上での課題、今後も実施するかなど教えていただきたい。</p> <p>【事務局】 参加者の方からアンケート取っており、その中で「自宅で参加できてよかった」、「自分の作業に集中しやすかった」といったご意見をいただいた。 一方「お互いの表情が見えにくい」、「再生が遅くなったり、音が飛ぶ」といった意見もあったので、対応策の検討が必要と考えている。また本事業は、今年度も開催を予定している。</p> <p>【副委員長】 コロナ禍の状況で、利用者の利用の仕方を感じていること、それに対して図書館側で対応すべき課題があるかどうか、考えを伺いたい。</p>		

内 容	<p>【事務局】 入館者に関しては約3割の減少となっているが、貸出は微減、予約は大幅増という状況となっている。このような状況から、実際に来館して利用することから、自宅で本を楽しむ方が増えてきているのかなと感じている。 7～8月まで実施していたアンケートでも、今後実施して欲しいサービスでは、「新刊図書の充実」が約30%と多く、続いて「検索・予約機能の強化」が約20%という結果となっている。現行システムが古いため、検索・予約機能には課題がいくつかあるが、来年1月のシステムリプレイスにより機能改善を図ることができるため、本を借りる目的で図書館を利用する利用者にも満足いただけるのではないかと思います。</p>
	<p>【委員】 システム入替は予定通り進んでいるのか。コロナにより進捗に影響が出ていないか伺いたい。</p>
	<p>【事務局】 年末年始に入替作業のための臨時休館をさせていただき、1月初旬から新システム稼働というスケジュールで当初計画したところであり、現状その通りに進んでいる。 また、会議についても現場での打ち合わせだけでなく、オンラインによる打合せも活用し、滞りなく進んでいる。</p>
	<p>【委員】 先日図書館に伺った時、予約本を受け取る場所のディスプレイが新しくなったような印象があったので、段階的に進めているのかと思ったので質問した。</p>
	<p>【事務局】 その件に関しては、機器の故障により新しいディスプレイに交換したため、見た目が変わったものである。</p>
	<p>【委員長】 資料14ページの「インターネットサービス」に関して、国立国会図書館が公共図書館向けのサービスを実施しており、台東区の資料や画像、音源などもたくさん公開されている。このようなサービスがあることをもっと周知・活用していくべきだと思う。 講座についてはオンラインでの実施を検討した方がいい。会場だと50人程度しか入れられない場合でもオンラインなら200人視聴できる、といった利点がある。また、動画を保存しておく、その後にインターネットや館内で視聴いただくことができる。 あと、図書館が掲載しているYouTube動画はどの程度視聴されているのか。</p>
<p>【事務局】 中央図書館を紹介動画は約3,000件、池波正太郎記念文庫の紹介動画は約2,700件、郷土の展示紹介動画は約2,000件ご覧いただいている。</p>	

【委員長】

他の図書館だと600件とかなので、結構多いと思う。

大分県の教育委員会では、図書館の利用や、調べ学習の紹介などを配信している。学校関係の動画を掲載すると、学校関係の方も結構見てくれて、件数が伸びる。大阪市も結構積極的に実施しているため、引き続き充実してほしい。

(2)新たな学校支援メニューについて

●資料1について、事務局から説明

【委員長】

ただ今の説明について、質問・意見を聞かせてほしい。

【副委員長】

小中学校向けの団体貸し出しパックは、図書館で作られたブックリストの中から選ばれているのか、或いはその学校からのいろんなリクエストも受け付けているのか、受け付けていなければ今後受け付ける予定があるのか。

【事務局】

中央図書館で毎年小学生向け中高生向けのブックリストを作成しており、基本的にはこの中から選書している。ただ、学校からの要望があれば、それに合わせて選書することも行っている。

【副委員長】

そうすると、例えば授業でこういうのが必要だから用意して欲しいというリクエストがあればそれに応じた対応を行っているのか。

【事務局】

こちらのパックではなく通常の団体貸し出しで対応しており、例えば伝統工芸に関する授業を行うのでその関係の本を集めて欲しい、といったリクエストに対しての対応は以前から受け付けている。

【副委員長】

団体貸出パックは再貸出ができるようにしているので、授業で使うものとは区分けしているということか。

【事務局】

ご認識のとおり。団体貸出パックは生徒や児童へ再貸出ができるということで、読み物などを中心に集めている。

【委員長】

おはなし会やブックトークはどのように実施しているのか。例えば図書館ボランティアが学校に行く形式などで行っているのか。

内
容

【事務局】

図書館に来館して参加していただくおはなし会の他、各学校や保育園、幼稚園からの依頼により、出張して実施するおはなし会も行っている。ブックトークについても同様である。

【委員長】

中学校についてはどうか。

【事務局】

現時点では実施していないが、希望があれば検討する。

【委員長】

山口県の山陽小野田市立図書館は、学校支援メニューの中で、中学校の昼休みに図書館職員が出張して、校内放送で本の紹介をするという取組を行っている。新型コロナウイルス感染防止のためしゃべらないで食事をする状況の中で校内放送をやると、熱心に聞いてもらえるようである。中学校での取り組みについて、こういったことも検討するといいいのではないかと思う。

調べ学習に関連した本の希望はどの程度あるのか。

内
容

【事務局】

調べ学習に関連した貸出数は、令和元年度は51回1,334冊、昨年度は33回994冊であった。昨年度は休校などの影響で回数が減ったが、授業の単位によっては希望が多く、同じ時期に集中することもある。あとは日光とか霧ヶ峰など校外学習に関する資料の貸出も行っている。

【副委員長】

団体貸出パックの対象には、私立の小中学校も含まれているのか。

【事務局】

対象は公立小学校・中学校になる。

【副委員長】

子供が読書に親しむ機会はいろいろあった方がいいと考えていて、私立学校への展開も少しご検討いただくのがいいのではないかと考えている。また、学校以外で、児童館とか幼稚園・保育園などへの展開も中長期的に検討いただきたい。この団体貸出パックは借りて帰れるという点で非常にいい取り組みである。コロナ禍の状況で本を家で楽しむ方が増えてきているという報告があったので、子供たちにとって普段通っている児童館や幼稚園、保育園、学校などで本を借りられるのは非常に大きなメリットだと思う。管理の面でまずは公立小中学校からというのがやりやすいと思うが、いくつかの課題をクリアし対象が拡大できれば、全国に誇れる取り組みになっていくのかなと思う。

【委員長】

台東区も使用している図書館流通センターの書誌データでは、教科書の単元ごとにリストの出力ができるようになっている。大田区や板橋区では利用者が使えるようにしている。教科書単元の検索ができるようになると、学校の先生の他、保護者でもこの勉強にはどういう本を読ませたらいいか、といった検索ができるようになる。新しいシステムで導入ができればいいのではないかと思う。

また、台東区は地域資料が充実しているので、地域資料を学校で積極的に活用してもらおうよう勧めていくことも有効だと思う。

【委員】

東浅草なかよし図書館が閉館になった理由について伺いたい。

【事務局】

東浅草なかよし図書館は東浅草小学校の中に設置されていたまちかど図書館であり、その東浅草小学校の大規模改修が令和元年度から始まり、それに合わせ図書館も休館していた。そして、改修後の小学校の活用方法を検討している中で、休館前の東浅草なかよし図書館の利用が少なかったことや、改修により学校図書館が充実した状況を踏まえ、児童の放課後活動をよりスムーズに運営するとともに、安全管理を十分に行うため、東浅草なかよし図書館を閉館し、東浅草こどもクラブ室として活用することになった。

【委員】

分室やいきいきプラザなどの見直しも検討しているのか。

【事務局】

今のところは検討していない。特にいきいきプラザは、南部地域での貴重な図書資料の貸出拠点としてご利用いただいているという状況もあるため、先ほどの東浅草なかよし図書館以外は現状どおり運営していこうと考えている。

【委員長】

まちかど図書館でもくらまえオレンジ図書館は、面積が82㎡あり、以前来館した時に比較的ゆったりした空間の図書館であると感じた。学校内にある図書館はセキュリティの問題がネックとなるが、中央区の日本橋小学校にはかなり大きな図書館を設置しており、利用者から評判がいいと伺っている。

ちなみに電子書籍の導入などは検討しているか。

【事務局】

新システムでは、オプションで電子図書館システムと連携できる機能を搭載している。ただ、電子書籍については、どういう本を導入するか、ターゲットをどこにするかなど、まだ整理ができておらず、導入の目途が立っていない。ただ、23区でも8区が電子書籍を導入している状況もあるため、他の自治体の動向を見ながら、引き続き検討していこうと考えている。

【委員】

高齢者への学習支援について伺いたい。このコロナ禍でプールなどが休館となって通えなくなり、認知症が進んでしまった、といった話を聞いている。図書館は地域社会の中核を担う施設であり、学習意欲を促進するような取組が図書館でできるのではないかと考えているが、そういった高齢者に対する学習支援や施策は行っているのか。

【事務局】

他の自治体では高齢者向けのサロンなどを実施している所もある。また、窓口業務を委託している事業者では、他の図書館で認知症予防のための図書館活用術といったイベントを実施しているようなので、そういったイベントの実施から始められないか考えてみようと思う。

【委員長】

認知症に関しては、鳥取大学の医学部の先生が、認知症予防のためには、声を出して本を読むことが非常にいいということで音読教室を提唱され、それを鳥取県立図書館が受けて実施している。さらに、鳥取県立図書館が貸出セットを用意して、市町村や町内会、老人福祉施設などでも実施してもらえるようにしている。台東区でも各図書館の事例を研究して、できるところから取り組んでいくといいのではないかと思う。

高齢者は1人で何かやるより集まってやることを望んでいる。ある公民館では、正月が近くなるとパソコンで年賀状を作ろうといった講座を実施しており、日頃外に出ない高齢者が参加しているようである。講座もボランティアが中心となって実施している。図書館でもボランティアを活用した高齢者向けのサービスを実施できるのではないかと思う。

大人向けの読み聞かせを実施しているところもある。自分で読むのではなく、人から読み聞かせをしてもらうと、今まで読んだことのないような本も読めるという声もある。ヨーロッパでは中学校で読み聞かせを行っている。高齢者向けの読み聞かせをやったら結構人気が出るのではないか。台東区なら池波正太郎を取り上げると、皆さん関心を持たれるのではないかと思う。

(3)その他

【委員長】

他に、質問・意見がある方はいるか。

【委員】

先日、シリーズものの本を借りて読み続けていたのだが、1点か2点が台東区に無くて、家のパソコンで検索しても出てこなかった。そこで、中央図書館で調べてもらったら他の区にあるということで借りてもらったことがあった。この連携は非常にいいサービスだと思うのだが、新しいシステムでは、家のパソコンでも他の区の本を検索できるようになるのか。

内
容

【事務局】

新しいシステムでも、他区の図書館の横断検索までは導入する予定はないが、他自治体の所蔵を検索できる外部サイトへのリンクがあり、検索結果から遷移することができる。他区の本を借りるリクエストについては、現在は窓口のみの受付としているところを、新システムではインターネットでも受付できるようにする予定である。

【委員長】

今、都内ならどこの図書館でも検索できるシステムがある。それで検索すれば台東区にないものでも文京区にあるとか、それで貸出中かどうか、わかるようになっている。また都立図書館でも、区立図書館経由で本を借りることができ、国立国会図書館の資料も館内閲覧限定だが資料を送ってもらうことができる。

【委員】

「カーリル」という、図書館の資料を横断検索できるサイトがあり、そこには図書館を登録する機能があるのだが、例えば墨田区と台東区を登録すると、台東区には所蔵がないけど墨田区にあるという情報を提供してもらえる。利用者の目線からすると、どこの図書館にあるかというよりも、自分の生活圏の中でどう手に入るかっていう観点が必要だと思うので、全部を揃えるのではなく、23区の図書館や国立国会図書館など、図書館を面としてとらえて、読みたい本がどこかの図書館で見つかるという方向性で選書するのもいいのではないかと思う。

【委員長】

早稲田大学の教育学部の近くの新宿区立地区図書館では、教育関係の資料がとても充実している。他の区の図書館では持っていない資料もあり、カーリルではそういった図書館の資料も検索できるようになっている。

【委員】

台東区には東京藝術大学があるので、芸術系は負けないような選書方針の作り方とかもあるかもしれないと思う。

【委員長】

以前、上野公園にある国際子ども図書館に伺ったとき、台東区と連携したいといった話をしていた。台東区の学校の生徒に来ていただき使っていただきたいと考えているようである。また、博物館ではそれぞれ図書室を持っているので、そこを区民の方に使っていただくといいと思う。西洋美術館では、台東区の資料を多く所蔵していて、浮世絵は1枚ずつバインダーに入れて見られるようになっている。国立公文書館のデジタルアーカイブでも台東区の資料が結構あるので、区民の方にも知っていただくといいと思う。

他に意見が無ければ、これで議事を終了とする。

5. 閉会

以上

内
容